

建設会社のための災害時の

事業継続簡易ガイド

～事業継続計画（BCP）の策定・実施にむけて～



震度6強

その時あなたの
会社は？

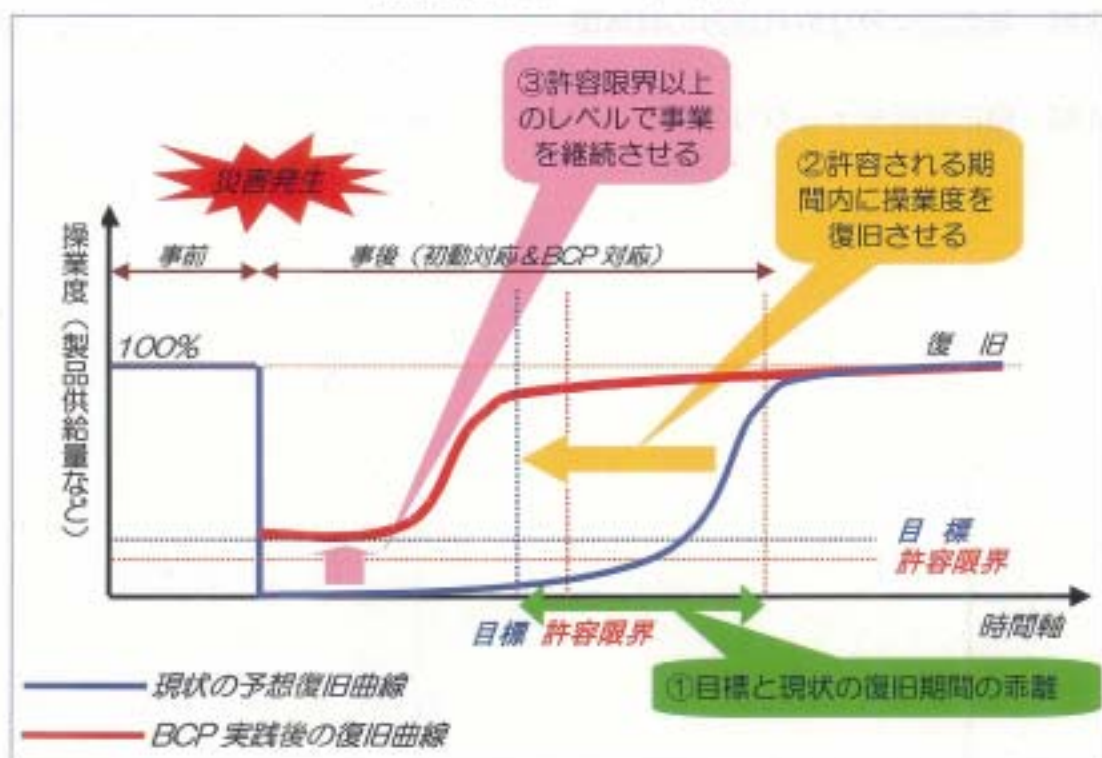


事業継続計画（BCP）とは何か

企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要業務が（なるべく）中断しないこと、中断してもできるだけ短い期間で再開することが望まれています。この事業継続を追求する計画を「事業継続計画」（BCP：Business Continuity Plan）と呼び、その取り組みの特徴は、次のとおりです。

- ① 災害後に活用できる資源に制限があると認識し、優先的に実施または継続すべき重要業務を絞り込みます。
- ② 重要業務のそれぞれについて実施、稼働、復旧などの目標時間を設定します。
- ③ 重要業務の実施または継続に不可欠で、再調達や復旧に時間や手間がかかり、実施または復旧の制約となりがねない重要な要素・資源（ボトルネック）を洗い出し、それらに重点的に対処します。
- ④ 常に最新の企業の実態や情報を反映するようにするため、定期的な更新、経営層による見直しなどが不可欠の要素です。

事業継続計画（BCP）の概念



（出典：内閣府「事業継続ガイドライン」）

事業継続の取組は、従来の防災対策に、以上のような新たな考え方や手法を加えるものと理解していただき、これまで行っていた防災計画や防災対策を基礎としつつ、発展させるものと考えてください。

なお、関東地方整備局では、公的な業務を継続するという意味から、事業継続計画（BCP）を「業務継続計画」と呼んでいます。